

```

*****
**                                     **
**                               ソフトウェア説明書                               **
**                                     **
** Windows/Windows for Itanium/Solaris/Linux/Linux for Itanium版           **
**   Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition                         **
**   Systemwalker Centric Manager Standard Edition                          **
**                                     **
**   監査ログ分析 SHieldWARE連携                                           **
**                                     **
*****

```

本書は、製品の取扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品に必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

■商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows CE、ActiveSync は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
 Palm、PalmOS、HotSyncは、米国Palm Computing K.K.の米国及びその他の国における登録商標です。  
 UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。  
 Systemwalkerは、富士通株式会社の登録商標です。  
 SHieldWAREは、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリーの登録商標です。  
 Netscape、Netscape Navigator、Netscape Communicatorは、Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
 Sun、Sun Microsystems、Sunロゴ、SolarisおよびすべてのSolarisに関連する商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。

Portion Copyright (C) Contributors to ISODE Project  
 Portions Copyright (C) 1983-1994, Novell, Inc., All Rights Reserved.  
 All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 1995-2008  
 All Rights Reserved, Copyright (C) 株式会社PFU 1995-2008

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。  
 なお、本書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard without Hyper-V(TM),  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Datacenter,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Datacenter without Hyper-V(TM),  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)  
 を“Windows Server 2008”と略しています。  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise Edition  
 for Itanium-based Systems,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Datacenter Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Datacenter Edition  
 for Itanium-based Systems,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Datacenter Edition  
 を“Windows Server 2003”と略しています。  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard x64 Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise x64 Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Datacenter x64 Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard x64 Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition,  
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Datacenter x64 Edition  
 を“Windows Server 2003 x64 Editions”と略しています。  
 Microsoft (R) Windows (R) 2000 Datacenter Server,

Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server,  
 Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server,  
 Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional  
 を“Windows 2000”と略しています。  
 Microsoft(R) Windows(R) XP Professional,  
 Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition,  
 Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition  
 を“Windows XP”と略しています。  
 Microsoft(R) Windows Vista(TM) Home Basic,  
 Microsoft(R) Windows Vista(TM) Home Premium,  
 Microsoft(R) Windows Vista(TM) Business,  
 Microsoft(R) Windows Vista(TM) Enterprise,  
 Microsoft(R) Windows Vista(TM) Ultimate  
 を“Windows Vista”と略しています。  
 Windows(R) Operating Systemを“Windows”と略しています。  
 Windows(R) Operating Systemで動作するSystemwalker Centric Manager  
 を“Windows版”と略しています。  
 Red Hat Enterprise Linuxを“Linux”と略しています。  
 Red Hat Enterprise Linuxで動作するSystemwalker Centric Manager  
 を“Linux版”と略しています。  
 Solaris(TM) Operating Systemを“Solaris”と略しています。  
 Solaris(TM) Operating Systemで動作するSystemwalker Centric Manager  
 を“Solaris版”と略しています。  
 Solaris、Linux、HP-UX、AIX上で動作するSystemwalker Centric Managerを“UNIX版”  
 と略しています。

また、Systemwalker Centric Managerのエディションで、Standard Editionを“SE”、  
 Enterprise Editionを“EE”およびGlobal Enterprise Editionを“GEE”と略しています。

本書は、以下の構成で記述されています。

1. 機能概要
2. 適応マニュアル
3. 制限事項
4. 使用上の条件
5. 製品構成
6. インストール
7. アンインストール

## 1. 機能概要

本ソフトウェアはSystemwalker Centric Managerの監査ログ管理機能や監査ログ分析機能を使用しているシステムで、監査ログ管理機能でSHieldWAREのログを収集し、監査ログ分析機能でSHieldWAREのログを分析する機能を提供します。

## 2. 適応マニュアル

Systemwalker Centric Manager 監査ログ管理／監査ログ分析 SHieldWARE連携ガイド  
 (J2X1-7370-0122(00))

上記マニュアルは、Systemwalker技術情報ホームページにて、本書と同じページよりダウンロードしてください。

## 3. 制限事項

制限事項はありません。

## 4. 使用上の条件

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア条件およびハードウェア環境を満たしている必要があります。

### 4.1 ソフトウェア条件

#### 1) 前提基本ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下の基本ソフトウェアが必要です。  
 詳細については、“Systemwalker Centric Manager 解説書”の“動作OS”を参照してください。

| 項番 | インストール種別                      | 基本ソフトウェア                                      |
|----|-------------------------------|---|
| 1  | 運用管理サーバ<br>/部門管理サーバ<br>/業務サーバ | Windows(R) 2000 Server (*1)                   |
|    |                               | Windows(R) 2000 Advanced Server (*1)          |
|    |                               | Windows Server(TM) 2003 Standard Edition (*2) |

|  |   |
|--|---|
|  | Windows Server (TM) 2003 Enterprise Edition (*2)    |
|  | Windows Server (TM) 2003 R2 Standard Edition (*2)   |
|  | Windows Server (TM) 2003 R2 Enterprise Edition (*2) |
|  | Windows Server (TM) 2008 Standard Edition           |
|  | Windows Server (TM) 2008 Enterprise Edition         |
|  | Solaris 10  |
|  | Solaris 9   |
|  | Red Hat Enterprise Linux 5                          |

- \*1 : Service Pack 4を適用してください。  
 \*2 : Service Pack 2を適用してください。

## 2) 必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

- ・ Systemwalker Centric Manager V13.2.0以降の運用管理サーバ

監査ログ分析機能を使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

詳細については、“Systemwalker Centric Manager 解説書”の“関連ソフトウェア資源”を参照してください。

運用管理サーバの場合

[Windows for Itanium版以外のWindows版の場合]

- ・ Windows版 Interstage Navigator Server Standard Edition V9.0以降または Windows版 Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.0以降
- ・ Windows版 Interstage Charset Manager Standard Edition V8.0以降または Windows版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.0以降

[Windows for Itanium版の場合]

- ・ Windows for Itanium版 Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.0以降
- ・ Windows for Itanium版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.2以降

[Solaris版の場合]

- ・ Solaris版 Interstage Navigator Server Standard Edition V9.1以降または Solaris版 Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.1以降
- ・ Solaris版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.0以降 (FSUNiconvパッケージ)

[Linux for Itanium版以外のLinux版の場合]

- ・ Linux版 Interstage Navigator Server Standard Edition V9.1以降または Linux版 Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.1以降
- ・ Linux版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.0以降 (FSUNiconvパッケージ)

[Linux for Itanium版の場合]

- ・ Linux for Itanium版 Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.1以降
- ・ Linux版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V8.0以降 (FSUNiconvパッケージ)

運用管理クライアントの場合

- ・ Interstage Navigator Server Standard Edition V9.0以降または Interstage Navigator Server Enterprise Edition V9.0以降

## 4.2 ディスク容量

本ソフトウェアに必要なディスク容量を示します。

### 4.2.1 静的ディスク容量

日付書式定義ファイル、正規化ルール定義ファイルおよび問い合わせサンプルファイルをコピーするためには次のディスク容量が必要です。

| 項番 | フォルダ          | ディスク容量    |
|----|---------------|-----------|
| 1  | 任意のディレクトリ(※1) | 0.02 (MB) |

(※1) 日付書式定義ファイル、正規化ルール定義ファイルおよび問い合わせサンプルファイルは別々のディレクトリにコピーしてください。

### 4.2.2 動的ディスク容量

本連携時に特別な考慮は必要ありません。

Systemwalker Centric Manager に準拠します。

詳細については、“Systemwalker Centric Manager 解説書”の“ディスク容量”を参照してください。

#### 4.3 メモリ容量

本連携時に特別な考慮は必要ありません。  
Systemwalker Centric Manager に準拠します。  
詳細については、“Systemwalker Centric Manager 解説書”の“メモリ容量”を参照してください。

#### 5. 製品構成

[Windows/Windows for Itanium/Solaris/Linux/Linux for Itanium]  
mpatashieldware\_20080630.exe

上記ファイル（自己解凍形式）を解凍すると、カレントディレクトリに以下のファイルが展開されます。

- ・ 日付書式定義ファイル
  - mpatmshieldware.fmt
- ・ 正規化ルール定義ファイル
  - mpatarule\_shieldware.ini
- ・ 問い合わせサンプルファイル
  - shieldware\_severity.RNE
  - shieldware\_warning.RNE
  - shieldware\_command.RNE

#### 6. インストール

2. の適応マニュアルにしたがって、インストールを実施してください。

#### 7. アンインストール

2. の適応マニュアルにしたがって、アンインストールを実施してください。

---